

平成22年度11月補正予算（追加）の概要について

平成22年12月3日

11月県議会定例会に追加提案する補正予算の概要を発表いたします。

県内の経済情勢が非常に厳しい状況にあることから、国の補正予算を活用し、県民生活の安全・安心の確保と将来の発展につながる社会資本の整備に関する予算を緊急に追加計上することといたしました。

その主な内容といたしましては、

まず、県民生活の安全・安心の確保として

- ・ 子ども達が安心して通学できる環境を整えるため、学校周辺の歩道整備を行い、児童・生徒の交通安全を確保するための経費
- ・ 地震や水害等の自然災害による被害を未然に防止するため、道路の落石対策のほか、がけ崩れ・土石流対策、河川・海岸の改修等を行うための経費
- ・ 橋りょう、トンネル等の補強・補修を行い、安全の確保と施設の長寿命化を図るための経費
- ・ 治山施設、老朽ため池等を整備し、災害に強い農山漁村づくりを進めるための経費

を計上いたしました。

次に、将来の発展につながる社会資本の整備として

- ・ 産業の振興と地域づくりに資するため、幹線道路や生活道路等の整備を図るための経費
- ・ 安定した生産基盤づくりを行うため、農地や用排水施設、さらには農林道などの農業生産基盤の整備を進めるための経費

を計上いたしました。

11月29日に提出した補正予算と合わせて、経済・雇用対策を迅速かつ適切に実施してまいる考えであります。

以上により、追加する補正予算は、68億6千2百万円で、既提出の補正予算51億7千3百万円と合わせると、補正予算の総額は120億3千5百万円となります。

平成22年度11月補正予算(追加)主要事業一覧

(単位千円)

県民生活の安全・安心の確保 3,925,232

- 1 通学路の歩道整備(土木部) 498,100
子ども達が安心して通学できる環境を整えるため、学校周辺の歩道整備を行い、児童・生徒の交通安全を確保する。
- 2 自然災害による被害の未然防止(農林水産部・土木部) 1,926,441
地震や水害等の自然災害による被害を未然に防止するため、道路の落石対策のほか、
がけ崩れ・土石流対策、河川・海岸の改修等を行う。
(農林水産部132,500 土木部1,793,941)
- 3 施設の補強・補修による安全確保と長寿命化(土木部) 813,470
橋りょう、トンネル等の補強・補修を行い、安全の確保と施設の長寿命化を図る。
- 4 災害に強い農山漁村づくり(農林水産部) 687,221
治山施設、老朽ため池等を整備し、災害に強い農山漁村づくりを進める。

将来の発展につながる社会資本の整備 2,158,469

- 1 幹線道路及び生活道路の整備(土木部) 1,143,700
産業の振興と地域づくりに資するため、幹線道路や生活道路等の整備を図る。
- 2 安定した生産基盤づくり(農林水産部) 1,014,769
安定した生産基盤づくりを行うため、農地や用排水施設、さらには農林道などの農業生産基盤の整備を進める。

国直轄事業負担金(土木部) 778,259

公共事業・県単公共事業（再掲）

6,861,960

（単位千円）

		農林水産部	土木部	計
普通建設事業	補正額	1,834,490	0	1,834,490
	累計額	22,519,357	7,616,228	30,135,585
災害復旧事業	補正額	0	0	0
	累計額	1,682,602	4,518,624	6,201,226
国直轄事業負担金	補正額	0	778,259	778,259
	累計額	8,819,481	15,167,559	23,987,040
公共事業計	補正額	1,834,490	778,259	2,612,749
	累計額	33,021,440	27,302,411	60,323,851
県単公共事業	補正額	0	4,249,211	4,249,211
	累計額	1,330,029	49,036,746	50,366,775
合計	補正額	1,834,490	5,027,470	6,861,960
	累計額	34,351,469	76,339,157	110,690,626
維持補修費	補正額	-	0	0
	累計額	-	10,642,390	10,642,390
総計	補正額	1,834,490	5,027,470	6,861,960
	累計額	34,351,469	86,981,547	121,333,016

ゼロ国庫債務負担行為<限度額>（農林水産部・土木部）551,286
 公共事業の早期発注と年間の平準化を図るため、債務負担行為による工事発注を行う。

（農林水産部509,286 土木部42,000）

平成22年度11月補正予算（一般会計・追加）の概要

（単位 百万円）

1 予 算 規 模

追 加 補 正 額	6 , 8 6 2
既 計 上 額	5 , 1 7 3
1 1 月 補 正 合 計	1 2 , 0 3 5
本 年 度 予 算 現 計 額	9 0 4 , 9 4 8
本 年 度 予 算 累 計 額	9 1 6 , 9 8 3
前 年 度 同 期 予 算 額 (H21年度12月補正後)	9 4 4 , 6 1 0
前 年 度 同 期 比 増 減 額	2 7 , 6 2 7
前 年 度 同 期 比 増 減 率	2 . 9 %

2 補正額の財源内訳

分 担 金 ・ 負 担 金	1 6 6
国 庫 支 出 金	3 , 0 6 1
県 債	3 , 4 9 5
繰 越 金	1 4 0

（注）表示単位未満の端数については、記載区分毎に四捨五入している。